2020 年国勢調査は 9 月 30 日が締め切りです！

この国勢調査には、イリノイ州居住者全員の統計が必要であることを IDHS から改めてお伝えいたします。 住民が国勢調査に回答しない場合、イリノイ州は数百万ドル規模の支出金とワシントン DC における議席数を失う可能性があります。国勢調査の情報が司法当局と共有されることはなく、政府からの給付金に影響することはありません。

国勢調査局の自己回答期限は 2020 年 9 月 30 日です。 国勢調査の回答は、オンライン（My2020census.gov）または電話（**1-844-330-2020**）で受け付けています。 また、**987987** に SMS を送信するか（メッセージおよびデータ通信料が適用される場合があります。利用規約をご確認ください）、census.illinois.gov にアクセスすることで詳細情報を確認できます。

**** この週報の末尾に共有可能な 2020 年国勢調査のインフォグラフィックを掲載していますので、併せてご覧ください。*

SNAP 追加支援

イリノイ州福祉局は、連邦政府が補助的栄養支援プログラム（SNAP）対象の全世帯に対して緊急手当を 9 月まで継続することを再度お知らせします。 この手当は、対象世帯がパンデミック中に各世帯規模に応じた最高額の SNAP 手当を受給することを保証しています。 対象世帯からの手続き等は不要です。 SNAP 手当を申請または管理するには、abe.illinois.gov にアクセスしてください。

2020 年介護職員啓発週間

イリノイ州福祉局（IDHS）は、National Direct Support Professional (DSP) Recognition Week（全国介護職員啓発週間）に合わせ、イリノイ州にて知的障害者および発達障害者を支援する介護職員の皆様に心よりの感謝を表します。 皆様は、当州のコミュニティサービスの根幹です。皆様の日々のサポートがあって、それぞれの個人がコミュニティの中で自己決定をしながら生活することができています。 新型コロナウイルスの流行が本格化しているなか、その職務は以前にも増して厳しく、重要なものとなっています。IDHS は、介護職員による変わることのない献身的な支えとコミュニティへの貢献に感謝します。 介護職員の皆様、ありがとうございます。

IDHS 雇用機会

イリノイ州福祉局（IDHS）では、当局の使命を推進するためにキャリア採用を行っています。IDHS は均等な雇用機会に取り組んでおり、州全体で 13,200 名以上の従業員を採用しています。バーチャル就職説明会やリクルートイベントにご参加いただくと、当局の採用情報について詳しく知ることができます。 IDHS の採用に関するイベントの一覧は、 こちらのサイトからご覧いただけます。 IDHS およびその他のイリノイ州職員採用情報は、work.illinois.gov にも掲載しています。

IDHS 農産品パイロット事業

イリノイ州福祉局（IDHS）は今週、「Community Garden」パイロット事業を新たに発表しました。貧困が慢性化しており、新型コロナウイルスの影響が最も深刻であるシカゴ南部のコミュニティに新鮮な農産品を届けます。 シカゴ・エングルウッドに所在する Antioch Haven Homes が Community Garden パイロット事業に協賛した最初の団体となりました。農産品は Antioch Missionary Baptist Church に附属する Antioch Haven Homes の菜園にて栽培されています。

ブロッコリーやカラードグリーン、ケール、キャベツが Antioch Haven Homes にてアフォーダブル住宅 197 軒の居住者に提供されます。また、Antioch Missionary Baptist Church は、コミュニティ菜園をさらに広げ、全 600 軒 1200 人以上の入居者にまで支援を拡大する計画です。この他にも、Fernwood Community Outreach Church、Great True Vine Baptist Church （ The Laura B. Collins Community Development Center ） 、 Inner-City Muslim Action Network （IMAN） 、 Trinity United Church （Endeleo Institute） などの組織が参加しています。Chicago Community Gardens Association は、2020 年 12 月のパイロット事業終了後も各組織との連携を続けていきます。

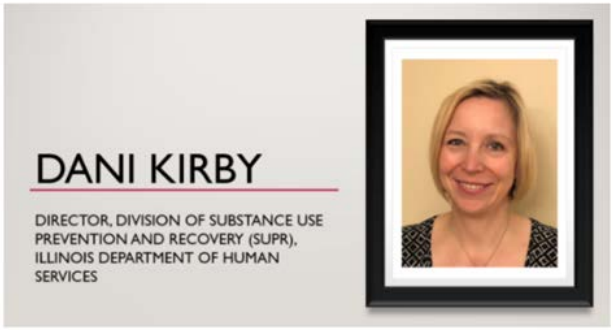
2020 年 National Recovery Month（全国回復月間）

9 月を「回復月間」として周知し受け入れていただくために、ソーシャルメディアで実施する#RecoveryBelongs キャンペーンをイリノイ州福祉局（IDHS）より発表します。

ハームリダクションのサービスを提供している最寄りの組織を見つけるには、イリノイ州ヘルプラインをご覧ください。個人が回復サポートのオプションを見つけることができるよう、IDHS/SUPR では、デジタル回復サポートページを開設しました。その他の資料の入手場所や組織のイベントを宣伝する方法など、International Overdose Awareness Day（国際過剰摂取啓発デー）や National Recovery Month（全国回復月間）の詳細については、こちらのサイトをご覧ください。

ご所属の組織がイベントの一環としてソーシャルメディアを活用する場合は、各投稿に「**@ILHelpline**」と「**#RecoveryBelongs**」のタグを付けてください。

IDHS／SUPR 課長が受賞



イリノイ州福祉局（IDHS）は、2020 年全国回復月間計画パートナーより Ramstad-Kennedy Award for Outstanding Leadership（ラムスタッド・ケネディ賞リーダーシップ部門）を受賞した薬物乱用防止回復課（SUPR）の Danielle Kirby 課長を称えます。

Danielle Kirby 課長は、イリノイ州と全米における回復支援プログラムにおいて、優れたリーダーシップを発揮したことが評価されました。 回復を促進し、イリノイ州における「依存症」のイメージを変え、物質使用障害を抱える個人とその子供や親族が直面しがちな治療と回復の屈辱感を排除するという積極的な目標を掲げました。Danielle Kirby 課長は、回復の概念を精力的に周知し、これを公共政策と資金獲得機会に反映しました。革新的な啓蒙活動を展開したほか、実体験を持つ人物を意思決定の場に招いたり、回復を可視化することの重要性を要職者に示したりすることで屈辱感に取り組みました。全国回復月間を全面的に支持し、エビデンスに基づき FDA に承認された投薬治療（MAT）および回復の価値に対する理解を高め、イリノイ州でのその受け入れを求めました。

2020 年国勢調査インフォグラフィック